

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

JRC・インターアクト部

高校生ボランティア・アワード2024

活動団体プロフィール

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校JRC・インターアクト部は現在部員21名で活動しています。主な活動内容は、校内の清掃、エコキャップ回収です。現在は、コロナウイルス感染症が落ち着き、以前よりも校外での活動が増えました。募金活動や地域のイベントのお手伝いなど、様々な活動に参加しています。

私たちは部員全員が常に問題意識をもって自分たちにできることは何かを常に考え、『気づき・考え・実行する』を基本理念にしています。



献血

本校では2023年の文化祭で献血を実施しました。JRC部員は呼びかけをし、50の方に協力をいただきました。また部員も献血についての講義を受け、若年世代の献血協力の重要性や課題点について知る良い機会となりました。当日、私たちは声出しや誘導をしました。また、協力してくださった生徒と先生方、一般来場者の方々に献血者に謝礼としてお菓子をお渡ししました。文化祭に来場した人に献血というものを広めることができたと思います。献血に必要な条件があり、16歳未満の生徒は献血ができないため、献血者の大半は一般来場者でした。

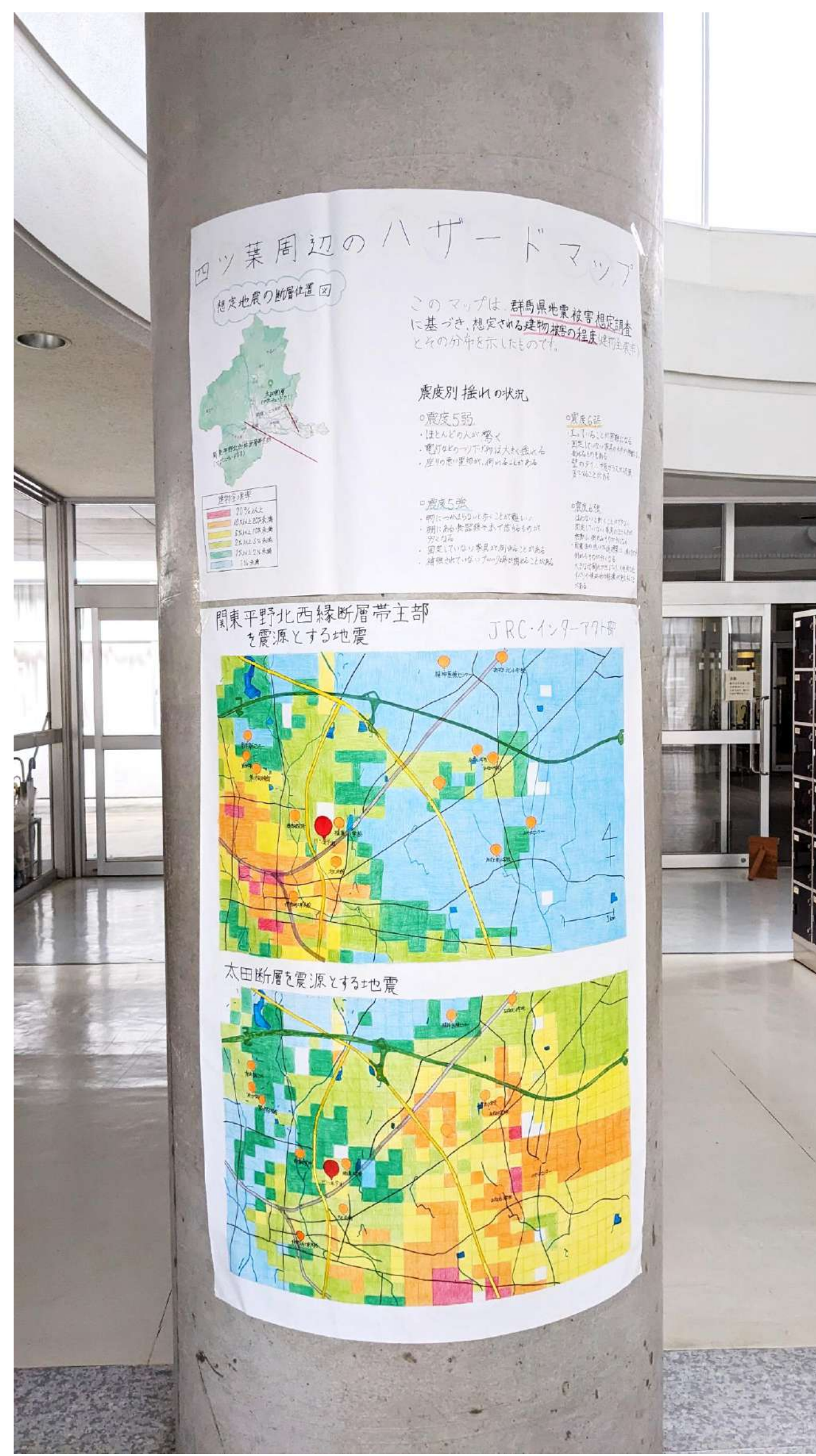
今後は献血に関する問題や現状について多くの人に知ってもらおう活動を行っていきたくと考えています。



防災

近年、能登半島地震などの地震災害が多発しており、地震などの災害がより身近に感じるようになってきました。そのため、本校の生徒に防災について理解を深めてもらえるように東京消防署本所防災館での実習を通して、地震に限らず様々な災害について学びました。

その知識を活かし、学校周辺のハザードマップや避難時に必要なもの、非常食をまとめたポスターなどを作成しました。非常食は実際に食べて、その体験を詳しくまとめました。校内に掲示することで本校生徒への防災への意識向上を図りました。



募金



2023年はコロナ禍があけてから初めてあしなが募金に参加しました。あしなが募金とは親を亡くした子供たちを支援するための募金活動です。寄付されたお金の半分は国内の子供たちの奨学金に、もう半分はサブサハラ・アフリカの子供たちの奨学金に使われます。

他にも2023年はモロッコ地震・リビア洪水募金や能登半島地震支援募金、赤い羽根募金、また、アフリカへ医療支援を行っているロシナンテス様への募金などさまざまな募金活動を行いました。

フードドライブ

本校では2020年からパルシステム群馬さんと協力してフードドライブを行っています。今年度、5回目の実施をしました。

本校で集めた食品をフードバンク前橋様へ寄付しました。毎年かなりの量が集まり、フードロス削減につながっています。日本のフードロスは毎年552万トンもの量に達しています。それを少しでも減らすために、この活動を続けていきます。



今後の展望

今後はより一層、献血の活動に力を入れていきたいです。また、新入部員も加わり、できる活動の幅が広がったため校外活動等の新しい活動も行っていきたいと考えています。

